



厚生労働省北海道労働局発表  
平成28年11月25日

担当	厚生労働省北海道労働局 職業安定部職業安定課 長 齊藤 洋悦 地方労働市場情報官 杉本 秀司 電話(011)-709-2311 (内線3673)
----	---

## 北海道ブロック雇用情勢報告

(平成28年7～9月四半期分)

厚生労働省では、今後四半期ごとに全国各ブロック別の雇用情勢を公表することとしました。

北海道労働局としても、これに合わせ雇用動向におけるトピック等を含む雇用情勢報告を公表します。

## 北海道ブロック雇用情勢報告(平成28年7～9月四半期分)

	前期 (平成28年 4-6月)	平成28年7-9月期								比較
	雇用情勢 判断	就業地別 有効求人 倍率 【季調値】 (対前期 差)  (単位:倍、 ポイント)	受理値別 有効求人 倍率 【季調値】 (対前期 差)  (単位:倍、 ポイント)	新規求人 増減率 ※季調値 で見た対 前期比  (単位:%)	新規求職 増減率 ※季調値 で見た対 前期比  (単位:%)	正社員有 効求人倍 率 【原数値】 (対前年同 期差)  (単位:倍、 ポイント)	雇用保険 被保険者 数増減率 ※原数値 で見た対 前年同期 比  (単位:%)	雇用保険 受給者実 人員増減 率 ※原数値 で見た対 前年同期 比  (単位:%)	雇用情勢判断	
北海道	—	1.09 (0.02)	1.05 (0.02)	2.6	3.1	0.69 (0.07)	1.2	▲8.3	道内の雇用情勢は、改善が進んでいる。	—

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

## 雇用動向におけるトピック

- 株式会社そごう・西武 西武旭川店の9月30日閉店に伴い大量の離職者が発生した。
- 平成28年台風第10号等による台風被害により、一部事業所では操業停止等の影響がでている。今後、食料品製造業などで原材料確保、道路、鉄路の寸断の輸送コスト、建設・土木関係においては復興需要における受注体制の確保等の懸念がある。

## 企業の生の声

- 求人を出しても応募者がいない。(建設業、医療・福祉業他)
- 従業員の高齢化が進んでおり、若年労働者を確保したいが応募者がいない。(建設業他)
- 先行きが不透明であり正社員化が難しい。(建設業)
- 従業員の定着を図るため、正社員化を進めている。(医療・福祉業他)
- 体制確保のため、作業や労働条件の改善に取り組んでいる。(小売業)
- 求人を出しているが、思ったように人が集まらないことからハローワークに相談したところ、子育ての方も応募できるように、自家用車の通勤を認め、残業無し等の内容変更を提案され、採用することができた。(小売業)

## マザーズハローワーク・マザーズコーナー 担当窓口の声

- 以前は「子供を保育所に預けて働くこと」に対する抵抗のある方が多かったが、最近では「子供を保育所に預けて働くことは当たり前なこと」となっていると感じる。
- 子供の預け先と勤務先の休日・就労時間との関係、子育て中の従業員に対する急病時等の急な休み時の対応配慮、就業場所(自宅からの通勤時間。子供の預け先との関係)等を求職活動において重視している方が多い。
- 希望職種や求職条件の整理ができており、条件に幅を持たせることができるなど、自己のスキル、得意分野等の自己理解ができている方、看護師・保育士等の資格を持っている方、家族の協力が得られ積極的に求職活動ができる方等が、就職に結びつきやすいと感じている。